

行政視察報告書

令和5年 7月7日

長浜市議会議長 松本 長治 様

長浜市議会議員 田中真浩

私が出席した行政視察の結果について報告します。

記

視察等名 令和5年度 会派(新しい風)行政視察

視察期間 令和5年7月7日(金)8:00~12:00

視察場所及び目的

①余呉町中河内ベルクスキー場跡

「乱開発後の豪雨時の崩落について」

工事自体許可が下りるような計画ではないと感じる。斜度のある谷間の両山肌を削り谷部を埋めて滑走コースにしている。コース両サイドには排水溝を設け、地中には約900mm径の排水管が埋設してはあったが排水路、排水暗渠とも脆弱であり、管理されず長期に渡ればもともと水の集まる急な谷部であるこのコースが崩れていくのは予想に難くない。おそらく8月5日の豪雨までにもかなりの量で流出していたと予想される。

県が許可した工事であるならば県の責任は重大だし、県の許可した範囲を超える乱開発だったとしても県の監督責任は免れない。現在グリーンパワーが工事を考えておられるのが、おとなみ川の高時川本流との合流点から100メートル程上流に堰堤を作るのが工事が進めやすく効果も高いとしているが、県はあくまでスキー場から少し下流に堰堤をと考えている。本来、一番の責任はスキー場を開発した業者にあるが、許可した県には同等の責任があるはずで県の対応は今も10年前も誠意がないと感じられる。

土木の専門知識はないが一度削り盛土した土は保持力に乏しく、降雨で流出するのが自然でむしろ人為的にスキー場下場まで崩し落としたとしたほうが将来の為だと思う。